



群馬県の実組紹介

～ISAP2026 テーマ別会合：令和8年9月4日～



写真：群馬県の魅力を発信する SNS 投稿事業「ぐんま応援びと」
@hannzo_さん、「自撮り」、尾瀬

群馬県の概況

○基礎データ

- ・面積：6,362km²（全国第21位）
- ・人口：1,939千人（全国第18位）
- ・東京都心から 100km圏

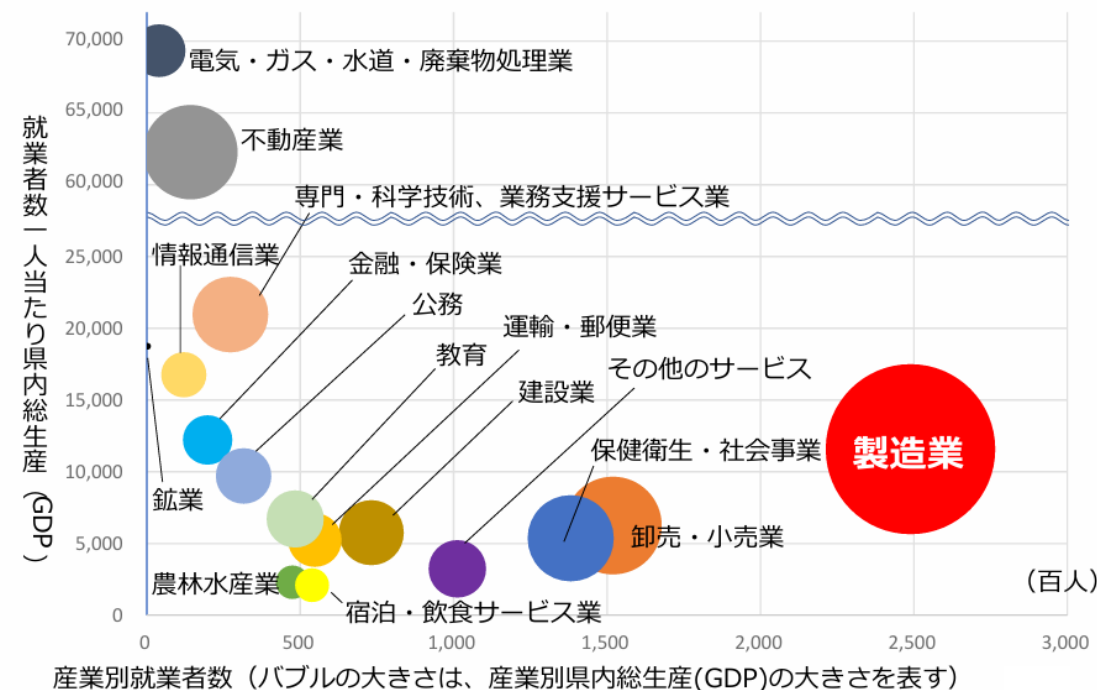


○県内経済概況

- ・製造業が県内総生産（GDP）の33.4%、就業者数の 24.2%を占め、県経済をけん引
- ・野菜産出額全国第6位(891億円)と首都圏の台所を支える農業県

バブルチャート（産業別県内総生産(GDP)・就業者数・就業者数当たりGDPの関係、2020年度）

(千円/人)



群馬県の脱炭素施策の沿革

2019年度

「ぐんま5つのゼロ」を宣言

- ◆ 全国で初めて5つの取組を総合的・包括的に宣言

2021年度

「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例を制定

- ◆ 新築・増改築する一定規模以上の建築物に再エネ設備導入を義務化

2022年度

グリーンイノベーション推進監・グリーンイノベーション推進課を設置

- ◆ 部長級のGI推進監及び企画部門に専門部署を設置

2024年度

グリーンイノベーション群馬戦略2035を策定

- ◆ 高い再エネ導入目標や産業変革の将来像とそこに向かう戦略を定め民間投資を呼び込む
- ◆ 農林業、製造業、交通・物流、資源循環を重点分野に部局横断で取組推進

2025年度

ぐんま水素ビジョン2035を策定

- ◆ 水素等の利活用の具体化を図る

「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

宣言3 災害時の停電「ゼロ」

宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

宣言5 食品ロス「ゼロ」

群馬県の脱炭素経営支援の沿革

2022年度

「脱炭素経営戦略相談窓口」（無料相談事業）開設

- ◆ 企業規模不問で専門コンサルタントに無料相談

2023年度

環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」参加

- ◆ 県内大企業のサプライチェーン傘下企業へ「見える化」ツールをトライアル導入
- ◆ 「支援機関向け中小企業の脱炭素経営支援ガイドブック」の作成

2024年度～

無料相談事業を「脱炭素経営お悩み相談窓口」に変更

- ◆ 窓口へ来所する形式から専門家が企業訪問する形式へ

金融機関・商工団体等向け「脱炭素経営支援」の普及に着手

- ◆ 商工会議所経営指導員向け研修会での周知
- ◆ 金融機関・商工団体向けセミナー・研修会の開催
（2025年経済産業省「中小企業に対する支援機関等のGX支援体制強化事業」へ参加）
- ◆ 金融機関・商工団体等、個別訪問
- ◆ サプライヤー支援を進める企業の情報捕捉、フォローアップ

支援機関や民間企業に向けたセミナーやワークショップの様子



地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業

群馬県・群馬銀行・東和銀行 連携事業

本事業【R5環境省】

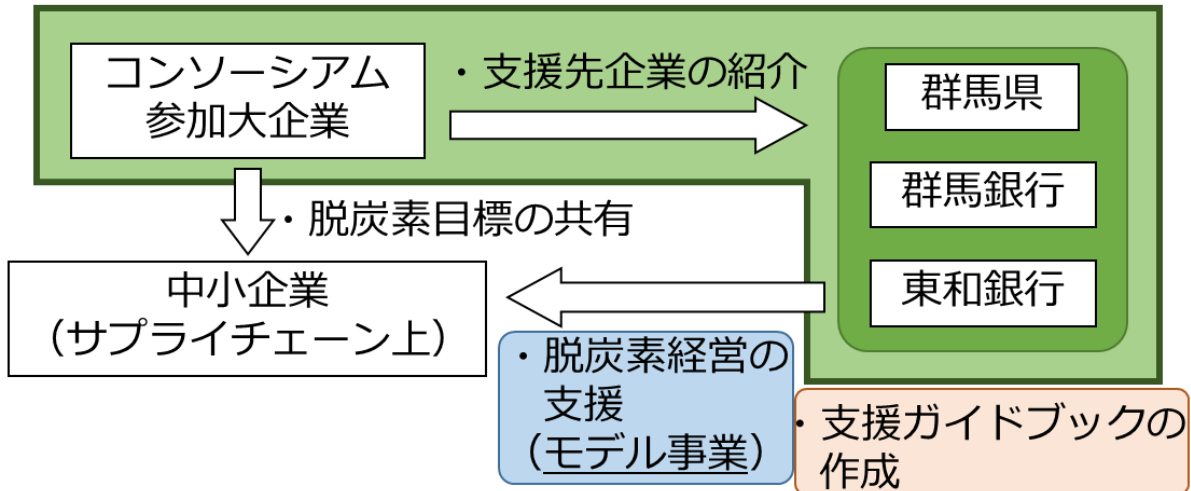
「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

(10/10国庫)

○群馬地域事業概要

中小企業への脱炭素経営普及に向け、支援機関（金融機関、団体等）の役割強化を目的として、モデル事例創出・支援機関向けガイドブック作成を通して、推進体制の構築と支援機関の人材育成を実施

革新的環境イノベーションコンソーシアム



○担当部署

群馬県 知事戦略部グリーンイノベーション推進課
群馬銀行 コンサルティング営業部
東和銀行 リレーションシップバンキング推進部

<モデル事業>



地域金融機関の
行員が実地支援

- ・ヒアリング・取組状況の整理
- ・ツールや取組の提案

※コンサルティング会社（PwC）がフォロー

○概要

- ・コンサルティング会社支援の下、銀行員が対象企業を支援
- ・支援の中から課題を見つけて、整理

<支援ガイドブックの作成>

- ・モデル事業で得られた知見を基に、企業を支援する者向けに脱炭素経営を地域企業に認知・実践してもらうためのガイドブックを作成
- ・脱炭素経営を企業に展開するノウハウ、具体的な取組みの流れ等、支援側に必要な情報を収録

0. 現状把握



1. 知る



2. 測る



3. 減らす



4. 創る

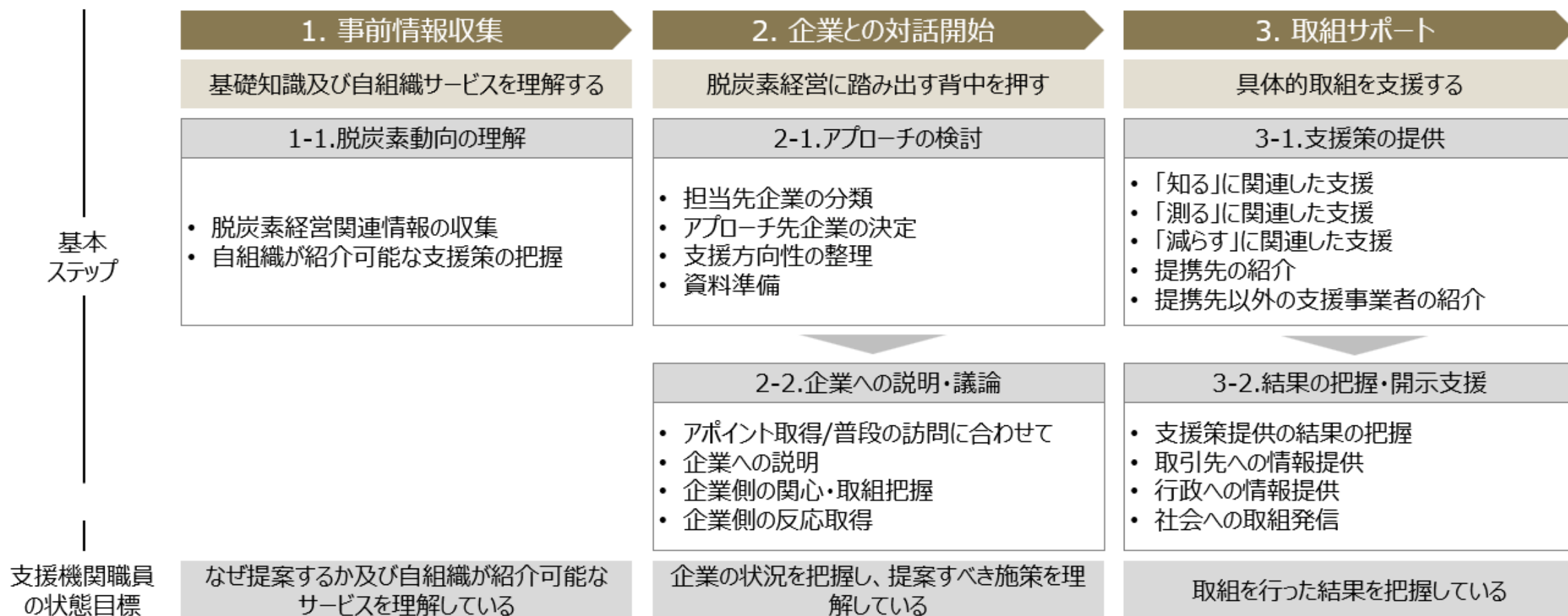


企業の脱炭素取組

中小企業の脱炭素経営支援ガイドブック①

脱炭素経営支援の基本ステップ

脱炭素経営支援にあたっては、1. 事前情報収集、2. 企業との対話開始、3. 取組サポートの3つのフェーズで進めます。日常的に関わりのある企業において脱炭素経営に対するニーズが高まりきっていない場合、「2. 企業との対話開始」のフェーズが特に重要となります。

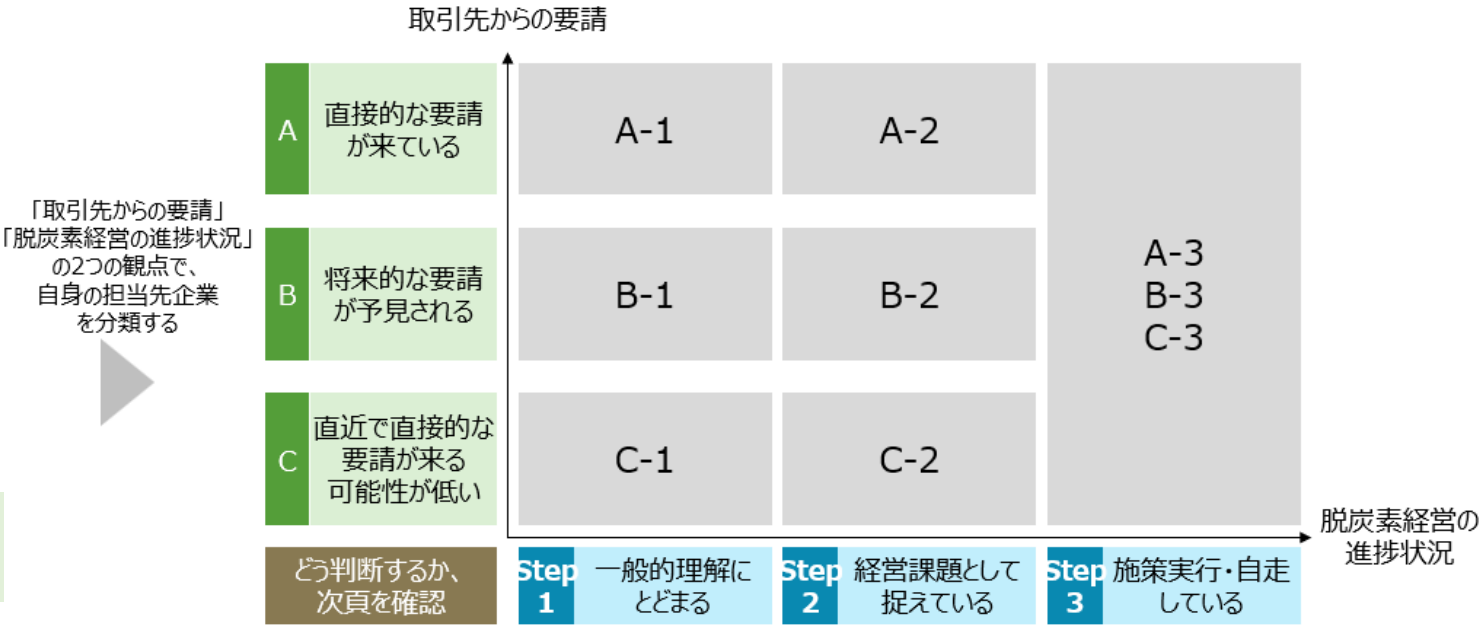


中小企業の脱炭素経営支援ガイドブック②

「環境に良い経営」は理解してもらえ
るが、経営者の行動に繋がらない…。

↓

やる気を引き出すきっかけを探る



#		基本ステップ	実施事項(大項目)		実施項目(小項目)	参照先
			✓	Step	チェック項目	
1	知る	脱炭素が求められる背景の理解	☐	1	世界的に脱炭素が求められることを把握する	補P6
2			☐	1	日本でも、脱炭素が求められていることを把握する	補P8
3			☐	1	メリット・リスクを理解する	補P16
4			☐	1	脱炭素経営に関するセミナーを受ける	-
5			☐	1	脱炭素取組の基本ステップを理解する	補P4
6			☐	2	脱炭素経営に関する情報を書籍・サイトで調査する	-
7			☐	2	業界や取引先から、自社にどのような脱炭素の取組が求められているか理解する	補P12
8			☐	2	業界や取引先の脱炭素の取組を理解する	補P12
9	測る	排出量の見える化	☐	2	エネルギー使用量が把握できるように整理する	-
10			☐	2	CO2排出量が即時把握できるように整理する	補P25
11	減らす	省エネ診断・専門家派遣の利用	☐	2	省エネ診断・専門家派遣を利用する	支援
12			☐	2	CO2排出量の削減目標を設定する	-
13			☐	2	CO2排出量の削減計画を立てる	-
14			☐	2	CO2排出量の削減計画を推進するための社内体制を構築する	-
15			☐	3	CO2排出量の削減計画通りに削減を実施する	補P31
16			☐	3	SBT認証やエコアクション21を取得する	-

やる気が出たら具体的な取組へ

↓

自団体で案内できるもの、地域内で受付できるものを一覧整理